



流しそうめんは準備が命（結構大変！）

発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

7月は、小雨と低温が続き梅雨明けが待ち焦がれましたが、ようやく本格的な夏を迎えました。園内では『セミ類』『カブトムシ』『クワガタ』など昆虫たちが元気に活動しています。深緑のなか涼しい風を受け、これらを五感で感じながら時間を気にせず散策されては如何でしょうか。（所長：蜂谷仁）



駐車場拡張に伴い、芝生広場に感謝を込めて、流しそうめん&スイーツを開催します！

中央記念館の駐車台数が少なく、GW や週末など路上駐車が多く発生し、これまで皆様方には大変ご迷惑をお掛け致しました。混雑対策のため駐車場拡張が決定し、中央記念館前の芝生広場の一部が駐車場になる運びとなりました（工事開始はまだ未定です）。

今まで私たちを楽しませてくれた芝生広場に感謝を込めて、今月は流しそうめん&スイーツを何度か開催致しますので、みなさまどうぞお楽しみください。

また、8月11日（山の日）10：00～15：00には、恒例となりつつあります「県民の森夏まつり」を開催しますので、こちらも皆様のご参加をお待ちしております。

流しそうめん 要申込・参加費：1名400円
※流しそうめんでも多少フルーツやスイーツが流れます
雨天中止です！
8月6日（火） 3日間とも 11：50 集合
8月17日（土） 12：00 開始
8月25日（日）

流し白玉&スイーツ 要申込・参加費：1名300円
※こちらは甘いものオンリーです！
雨天時は竹水ようかんづくり 200円となります
8月11日（日） 1回目 11：00 開始
(県民の森夏まつり内) 2回目 14：00 開始
8月22日（木） 11：00 開始

各回50名限定 開始時間より1時間ほどで終了予定です
お電話もしくは直接管理事務所にお申込み下さい！

今月のけんみんのもり写真館 スタッフが見つけたしぜんのはとこま



アヤギソウ（ショロウソウ科）
青柳草

名前は花が緑色、昔は緑を青といい、上部の葉が柳の葉に似ているので青柳草です。花茎は0.5～1mほど伸び、先に目立たない花（雄花と両性花）を多数咲かせます。長楕円形の葉は茎の下部に集まり、若葉の頃はコバイケイソウに似ています。（駒野）



イタドリ（夕奈科）
虎杖・スイバ・スカンポ

名前は民間療法で、若葉を手でもんで傷口に当てると血が止まり、痛みが取れるから。この痛みとりが転じてイタドリになったようです。有用な植物ですが、そのすさまじい繁殖力から、“世界の侵略的外来種ワースト100”に入る不名誉な名前をもらっています。（駒野）



オミナエシ（オミナエシ科）
女郎花

名前の語源ははっきりしませんが、平安時代のころ黄色の粟飯を女の飯、オミナメシといい、転じてオミナエシになったという説があります。白い飯を男の飯と対比しての話のようです。この花のつつましい姿は日本人好みの野草で、秋の七草の一つですが、最近あまり見かけません。（駒野）



オトコエシ（スイカズラ科）
男郎花

名前は黄花のオミナエシに似ていて、白花で強く丈夫そうに見えるからです。山野にふつうに見られ、名前の通り全体に強靱な感じがします。オミナエシと同様に、生けた水は腐った豆醬のような嫌なにおいがします。漢方では両種の根を敗醬根と呼び薬用します。（駒野）

県民の森名木紹介 vol.57 ミズキ



今年のミズキは、花付きの当たり年のようです。付近のミズキも枝全体に見事に咲かせていました。

写真の樹は、5月定例のノルディックウォーキングで、2号幹線の青麻神社に向かう3差路に差し掛かった時、目に飛び込んで来たものです。普段、殆ど見過ごしてしまうこの樹も、この時だけは違いました。樹々が毎年違った様子を見せてくれるのも、楽しみの一つです。来年はどうか。（工藤）



作業主任のAさんが、なにかの幼虫がいる！と言うので見に行くと、キバをむいた全長5cmほどのむっちりした幼虫の姿が。これは「ウスタビガ」の幼虫で、山の中でよく見かけるきれいな緑色の繭（写真右）は、この幼虫がこれから作ります。毎日観察が楽しみです。（入岡）



小雨の中での野鳥クラブにて、ピューピュー、というオオタカの幼鳥の声が聞こえてきました。「こっちむいて～」とアイドルのコンサートのように呼びかけるも、エサを運んでくる親に集中しているようで、ファン達には気づいてくれませんでした（泣）。（入岡）